

令和4年度 事業報告書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

公益財団法人 明石文化国際創生財団

令和4年度 公益財団法人明石文化国際創生財団事業報告書

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響が残り、文化芸術及び国際交流の両事業とも、中止や縮小、内容の変更等を余儀なくされる時期がありました。

このような中、市民生活に活力や潤いをもたらす文化芸術の推進、また外国人への支援といった国際交流の推進は、さらにその重要性が高まっています。本財団では従来からの取り組みの充実を図るとともに、ウィズコロナ時代に対応した新たな事業も積極的に展開しました。

- | |
|-------------------|
| I. 公益目的事業 |
| 公1 文化芸術推進事業 |
| 公2 国際交流推進事業 |
| II. その他事業等 |
| 他1 明石フィルハーモニー支援事業 |

I 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

市民の文化的、芸術的な活動を推進し、賑わいのあるまちづくりを一層進めるため、明石市とも連携しながら、次の事業を推進しました。

1 文化芸術事業の開催

ウィズコロナ時代に対応しながら、幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験できるイベントや明石ゆかりの美術作家の作品展などを開催するとともに、市民への文化芸術の鑑賞機会の提供や創作活動を行っている個人・グループへの支援を行いました。

(1) コンサート等

① あかしふれあいコンサートの開催

音楽を通じたまちの賑わいづくりや次世代育成の一環として、まちかどにおける中高生などによる吹奏楽等の演奏会を開催し、広く市民に鑑賞機会を提供しました。コロナ拡大の影響を受けた1月と2月は中止することとなりましたが、年間8回を開催することができました。

[開催日及び出演者] 毎月1回(夏季期間を除く)、土曜日午後

- ① 4月16日(土) 錦城中学校
- ② 5月21日(土) 明石フィルハーモニー管弦楽団木管五重奏
- ③ 6月18日(土) 明石西シンフォニックバンドシンシア ウインドオーケストラ
- ④ 9月10日(土) 野々池中学校
- ⑤ 10月15日(土) 衣川中学校
- ⑥ 11月12日(土) 明石北高校
- ⑦ 12月17日(土) 望海中学校
- ⑧ 3月25日(土) 沢池ミュージックバンド

[開催場所] あかし市民広場、イオン明石 SEA PARK、アスピア明石アトリウムコート

[観客] 一般市民 延べ約1,000人

② ひとつぶのたねクラシックコンサート・親子のためのひとつぶのたねコンサート

ひとつぶのたね栽培委員会と市立市民会館の共催による演奏会を開催し、愛好家の減少が指摘されるクラシック音楽を市民が気軽に鑑賞できる機会を提供しました。併せて、明石ゆかりの若手音楽家の活動の発表機会としました。

なお、7月と11月は0歳からの親子で楽しめるコンサートとして開催しました。

[開催日及び出演者]

- ① 5月7日(土) 近藤浩志:チェロ、河合珠代:ピアノ
- ② 7月9日(土) 山内由香、志津妙子、曾我香織、安岡やよい:以上ユーフォニアム

光本論史：パーカッション、宇野美姫：ナレーション

③ 9月10日（土）井上康夫：チェロ、武内美都：ピアノ

④ 11月12日（土）西海奈都子：オカリナ

⑤ 1月14日（土）大塚路子：ピアノ

⑥ 3月11日（土）福嶋令奈：ヴァイオリン、松尾紗里：ピアノ

〔開催場所〕 市民会館中ホール、西部市民会館ホール

〔出演者〕 クラシック系音楽家

〔入場者〕 一般市民 総計1,193人

③ 佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団明石公演事業

佐渡裕氏の指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団によるコンサートを開催し、国内最高水準のオーケストラ音楽が鑑賞できる機会を広く市民に提供しました。

また当日の午後には、佐渡裕氏が人丸小学校を訪問し、同校6年生約130人に特別授業を実施しました。

〔開催日〕 9月22日（木）

〔開催場所〕 市民会館大ホール

〔出演者〕 佐渡裕氏と兵庫芸術文化センター管弦楽団

〔入場者〕 一般市民 1,170人

④ スーパーキッズ・オーケストラ明石公演

兵庫芸術文化センターのソフト事業として、佐渡裕氏が指導するスーパーキッズ・オーケストラの演奏会を開催。トップクラスの演奏技術を持つ小学生から高校生までのジュニア演奏家によるクオリティーの高い純粋な音楽を、幅広い世代で楽しめる機会を提供しました。

〔開催日〕 2月5日（日）

〔開催場所〕 西部市民会館ホール

〔出演者〕 スーパーキッズ・オーケストラ

〔入場者〕 一般市民 364人

⑤ 吹奏楽の夕べ（明石市芸術祭）

市内で活動する吹奏楽団体が一堂に会し、広く市民が音楽を楽しむことができる演奏会を、明石市芸術祭事業の一環として開催しました。

〔開催日〕 8月28日（日）

〔開催場所〕 市民会館大ホール

〔出演者〕 中学・高校・一般の吹奏楽部、吹奏楽団28団体

〔来場者総数〕 一般市民 2,768人（三部制／完全入替制）

⑥ 音楽のつどい（明石市芸術祭）

市内外で活動する合唱団体が一堂に会した音楽会を明石市芸術祭事業の一環として開催し、広く市民に日頃の練習成果を披露しました。

〔開催日〕 11月3日（木・祝）

〔開催場所〕 市民会館大ホール

〔出演者〕 市内外で活動する合唱団体21団体

〔来場者総数〕 一般市民 延べ750人

⑦ 明石薪能

歴史と文化の息づく明石のまちで「明石薪能」を開催し、多くの市民に質の高い伝統芸能の鑑賞機会を提供しました。

〔開催日〕 10月1日（土）

[公演内容]	能「小鍛冶」、狂言「水掛髻」
[開催場所]	明石公園西芝生広場 組立式能舞台
[出演]	上田能楽堂
[入場者]	一般市民 880人

(2) 美術展、作品展等

① MERIDIAN美術展

市内在住・在職又は出身の若手アーティスト等の作品展を開催し、広く市民に明石にゆかりのあるアーティストを紹介するとともに、美術作品の鑑賞機会を提供しています。

令和4年度は、当財団の前身である文化芸術創生財団10周年を記念して、市内在住の彫画家伊藤太一氏の作品展を開催しました。

[開催日]	前期：3月8日(水)～16日(木)、後期：3月18日(土)～26日(日)
[開催場所]	文化博物館ギャラリー
[出展者]	彫画家 伊藤太一氏
[入場者]	一般市民 約3,050人

② スマイルギャラリーでの作品展示

明石市内外で創作活動を行っている作家に作品発表の場を提供するとともに、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しました。

[開催日]	令和4年3月29日(火)～4月13日(水)「日本画三人展」から 7月24日(日)～8月1日(月)「ma toele. (纏える絵)」まで計7回開催
[開催場所]	スマイルギャラリー(アスパア明石3階連絡通路等)
[出展者]	近隣の美術作家
[入場者]	一般市民

(3) 創作活動の発表機会の提供

① 次世代アーティスト支援事業

次代を担うべき将来有望なアーティストの活動を支援することにより、多様なジャンルのアート活動を広く市民が体感・体験できる機会を提供しました。

○ アートパフォーマンスフェスタ イン あかし

多様な分野のアーティストの特長を生かしたワークショップとステージイベントを開催することにより、広く市民がアートに触れ、アートを身近に体験できる機会となりました。

[開催日]	11月20日(日)
[開催場所]	あかし市民広場
[出演者]	ワークショップ(フロアイベント)7組、ステージイベント5組
[来場者]	一般市民 約1,000人

○ 町劇Akashiによる演劇ワークショップ

演劇という文化を通して、年代を超えた市民交流を推進するとともに、子どもたちの豊かな心と身体を育む取り組みを進めるなか、まちなかで生の演劇に触れることにより、劇場へ行くことの敷居を下げ市民が気軽に演劇を鑑賞できる機会を提供し、演劇文化の発展・普及を図りました。

[開催日]	11月20日(日) ワークショップ 9月～11月の土・日・祝。全20回
[開催場所]	あかし市民広場 ※当日雨天のため移動劇は中止
[出演者]	小学生から高校生の明石市民10人と地域の劇団員
[来場者]	一般市民

○ ヘッドアートプロジェクトチーム支援事業

ヘッドアートプロジェクトチームの協力を得つつ、明石からジャンルにとらわれないアート表現の一つとして「ヘッドアート」関連事業を開催し、その芸術性を世界へ発信しました。

また、メイクアートの芸術性を広く市民に周知するとともに、創作活動を行っているアーティストの活動意欲を喚起し、明石におけるメイクアートの高揚と芸術の発展に寄与しました。

・ ヘッドアートフォトコンテスト及び入賞作品展

フォトコンテストとして全国から作品を公募し、受賞作品を明石駅等に展示するとともに、その芸術性の高さを広く市民に披露しました。

[募集期間] 4月1日～8月2日

[発表] 9月24日(土)WEBサイト上で発表

[応募作品] フォト部門122点、イラストレーション部門28点

[入賞作品展示場所] アスピア明石ギャラリーストリート：10月5日(水)～31日(月)
あかし市民広場：11月20日(日)～22日(火)

[参加者] 一般市民

・ ヘッドアートコレクション

フォトコンテスト入賞者による実演披露でのオーディション開催、プロによるデモンストレーション、フォトコンテスト過去入賞作品の展示等、様々なコンテンツからヘッドアートという芸術を広く普及するため開催を予定していましたが、コロナ禍のため見送りました。

・ 本気で怖いきもだめし

特殊メイクと演技のワークショップを開催し、メイクアートのもつ芸術性や、演劇を身近に感じてもらい、地元の神社で「きもだめし」を実施することで、成果披露の機会としました。

[開催日] 8月7日(日)

[開催場所] 岩屋神社

[ワークショップ受講者] 16人

[来場者数] 603人

○ 明石アーティスト協会支援事業

明石市の文化芸術の発展への寄与を目的に、明石アーティスト協会と協力して市内で活動するアーティスト同士のネットワーク構築に努めました。

また会員アーティストが互いに刺激を受けて意欲を高めることができるよう、分野を超えた映像制作及びWEB配信を支援しました。

[タイトル] 「^{とき}のおとをとりもどしたうさぎの^お音はなし」

[WEB配信] 令和4年10月から配信中

[撮影場所] 魚の棚、天文科学館付近等、市内各所

[制作者] 明石アーティスト協会

[視聴者] 一般市民

○ 若手演奏家クラシックコンサート

若手クラシック演奏家による「明石クラシックコンサート」を開催し、発表機会の提供と明石におけるクラシック音楽の普及に努めました。

[内容] 「新春に聴く第九～豪華！ピアノ2台で奏でる歓喜の歌」

[開催日] 1月8日(日)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] 坂本彩(ピアノ)、青柳晋(ピアノ)

[入場者] 一般市民 381人

○ フレッシュコンサート

音楽大学在学中の市内在住或いは出身者である音楽家の卵たちの演奏会を開催し、出演者の研鑽意欲を喚起するとともに、澁刺とした演奏を市民に披露しました。

[開催日] 2月18日(土)

[開催場所] 子午線ホール

[出演者] 市内在住・出身の現役音大生と同コンサートに出演経験のあるOB 計8人

現役音大生：新居明果(メゾソプラノ)、杉原莉鈴(ピアノ)、
神田夕紀帆(ピアノ)、稲山莉乃碧(ピアノ)

OB：岸本恵太郎(トロンボーン)、勝部藍里(ピアノ)、
上田仁美(ピアノ)、新免桃子(ピアノ)

[入場者] 一般市民 132人

② 明石市合同芸術祭

芸術祭事業を合同で開催することにより、団体同士のコラボやワークショップを通じてそれぞれの活動の一層の活性化を図るとともに、より多くの市民が芸術祭に参加できる機会を提供しました。

[開催日] 11月5日(土)、6日(日)

[主な内容]

○ ダンスカーニバル

市内外で活動する洋舞団体によるダンスパフォーマンスの発表会

○ いけばな展

市内外で活動するいけばな団体11流派による57作品

○ お茶会

市内外で活動する茶道の団体による茶会

○ 邦舞・邦楽のつどい

市内外で活動する邦舞・邦楽分野の団体による伝統文化の発表会

○ 明石市文化団体連合会に所属する団体と連携した催しの開催

いけばな体験、邦楽体験、日本舞踊体験、吟詠体験

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[出演者] 明石市文化団体連合会に所属する15団体を中心とする文化グループ

[入場者] 一般市民 延べ1,817人

(4) 創作活動のコンテストの開催

① 明石市美術展(明石市芸術祭)

市内外から作品を公募し、市長賞をはじめとする優秀作品の表彰式と入選作品展を開催することにより、市民の創作意欲の向上を図るとともに、広く市民に美術作品鑑賞の機会の提供に努めました。

[募集期間] 8月～11月

[応募者] 一般(美術作品の創作活動を行っている者)、ジュニア(小・中学生)

[応募作品] 一般 洋画、日本画、書道、彫刻・工芸、写真の5部門 268点
ジュニア 書道、絵画の2部門 644点

[開催場所] 文化博物館ギャラリー

[作品展示期間] ジュニア:11月23日(水・祝)～27日(日)

一般前期:11月30日(水)～12月4日(日) 洋画・写真

一般後期:12月7日(水)～11日(日) 日本画・彫刻工芸・書道

[入賞作品] 一般:市長賞、議長賞、美術協会長賞 各部門1点

奨励賞 五部門で39点

ジュニア:市長賞、議長賞、美術協会長賞 小・中学生別に各部門1点

[表彰式] 12月10日(土)文化博物館

② 明石市文芸祭

市内外から文芸作品を公募し、市長賞をはじめとする優秀作品の表彰式を開催するとともに入選作品集「ことのはものがたり」を発行。市民の文芸への関心高揚と創作意欲の向上を図りました。

[募集期間] 7月1日(金)～8月31日(水)

[応募者] 一般、ジュニア(小・中学生)

[募集作品数] 一般 俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門 2,210点
ジュニア 俳句、川柳、短歌の3部門 2,053点

[入賞作品] 一般 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞(各部門1点)、
実行委員会賞(各部門3～5点)

ジュニア 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞(小・中学生別に各部門1点)、実行委員会賞(小・中学生別に各部門6～10点)

[表彰式] 3月18日(土)子午線ホール

③ ちびっこアーティスト育成事業(Greatest Kid's Talent)

18歳以下のちびっこアーティストの芸術活動動画を公募し、優秀者にステージでの発表の機会を提供。ステージ発表者のなかから、最優秀賞等を選出・表彰しました。

[開催日] 1月22日(日)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] 市内・近隣市町在住の子ども(小・中学生・高校生等)10組31人

[観客等] 一般市民

[WEB配信] YouTube 2月4日(土)～3月25日(土) 1,290 View

視聴者投票 496票

(5) 学校での文化芸術の鑑賞機会の提供

① 学校へのたこフィル派遣事業

明石フィルハーモニー管弦楽団(たこフィル)を市内の5つの学校へ派遣し、良質な音楽の生演奏を子どもたちに提供したほか、市内福祉施設等での生演奏も行いました。

[開催日] 通年

[派遣先] 市内小・中・養護学校 等

[派遣アーティスト] 明石フィルハーモニー管弦楽団(アンサンブル)

2 文化芸術活動支援事業

多様な文化芸術の担い手が連携・協働する拠点としての緩やかな相互ネットワークの形成を図り、アーティストや文化団体、地域住民、行政とのコーディネーターや、市民やアーティストのプラットフォーム機能の充実、情報提供、助成、相談など、中間支援組織としての役割を担い、地域の文化芸術の推進を図りました。

(1) プラットホームを提供し、緩やかな相互ネットワークの形成を図る事業

① アートマネジメント講座

美術、音楽や演劇などの企画から実施、資金集めや広報などの実践的な技能に加え、アートと社会の関わり方に至るまで、より多くの人に、より質の高い芸術に触れる機会を提供することができるようアートマネジメント講座を開催しています。今年度は、イベント周知と集客に効果を発揮する宣伝ツールであるフライヤーの作成について学ぶ機会を提供しました。

[開催日] 3月24日(金)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[講師] 株式会社オンド 折尾裕希氏
[参加者] イベントチラシのデザインや作成に関心のある市民等22人

② 文化芸術関係施設・機関ネットワーク会議

市内の主な文化芸術関係施設や機関による情報交換や連携のあり方を協議するネットワーク会議については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一堂に会する会議は中止し、個別協議や文書による情報共有にとどまりました。

[参加団体等] 明石文化国際創生財団、文化博物館、市民会館、市立図書館、天文科学館、明石観光協会など

③ 文化芸術活動団体やイベントの実行委員会事務局の分担

それぞれの活動が円滑に行われるよう明石文化団体連合会（明石市芸術祭）、明石薪能、明石市文芸祭などの実行委員会事務局等を担当し、新型コロナの感染状況等を考慮した上で、事業の実施の可否や実施方法、並びに感染症対策についての調整等を行いました。

④ 明石市文化芸術創生基本計画推進事業

本市の文化芸術施策の基本方針である明石市文化芸術創生基本計画に基づき、市と連携を図りながら、一層の文化芸術の推進に向けて、既存事業の拡充・見直しはもとより、デジタルアートの推進など、新たな事業展開に積極的に取り組むこととしています。令和4年度は、以下の取り組みを進めました。

○ アートパフォーマンスフェスタ イン あかし(前出)

○ 町劇 Akashi による演劇ワークショップ(前出)

○ デジタルアートの推進「デジタルアートを学ぶ・触れる・遊ぶ」

地域の価値ある文化や芸術の集積、新たな形での発信を通じたまちづくりに向けた取り組みを進めるため、実施しました。

[開催日] 8月27日(土)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[講師] 金箱淳一氏（神戸芸術工科大学准教授、楽器インターフェース研究者）

[来場者] 71人

○ 著名な音楽家による音楽会「明和電機ナンセンスマシーンコンサート in 明石」

[開催日] 2月23日(木・祝)

[開催場所] 市民会館大ホール

[入場者] 1,007人

⑤ 文化観光支援事業

文化芸術の振興と市内の観光振興や地域の活性化に寄与するため、明石市や関係機関と連携し、「全国豊かな海づくり大会」のプレイベントにたこフィルのアンサンブルや洋舞協会のダンスチームを派遣するなど、文化芸術の観点から支援を行いました。

(2) 文化芸術活動に関する情報の発信や共有により市民の活動を支援していく事業

① 機関紙・広報紙の発行

財団の事業内容をPRするとともに、市内の文化芸術事業・イベント、市内で活躍するアーティスト、市内の文化芸術活動や文化財などを広く紹介するなかで活動の支援を進めました。

○ 財団機関紙「創生」の発行

財団の事業内容のほか、市内の文化芸術活動や文化財などを紹介し、市民の文化芸術活動を支援しました。年3回発行。

[内 容] VOL.32 Rhymoe クリエーター石川良美氏の紹介、本財団10周年の案内など
VOL.33 あかし文化芸術月間、アートパフォーマンスフェスタ イン あかし

の紹介など

VOL.34 彫画家 伊藤太一氏、ヘッドアート受賞作品、明石クラシックの紹介など

[発行部数] 各回 3,300 部

○ フリーペーパー「MEIBUNGEI NEWS」の発行

財団主催事業に加え、市内で開催される各種文化芸術事業やアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を推進しました。

[発行] 年6回(4、6、8、10、12、2月の隔月発行)

[発行部数] 各回 3,000 部

② 文化芸術情報の発信

○ メールマガジンの配信

市内で開催される各種文化芸術事業や財団事業、活躍するアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を推進しました。

[発信] 毎月1回配信

[配信数] 各回約600件

○ ホームページによる情報発信

市民等が最新の必要な情報をスムーズに取得できるよう、よりシンプルで分かりやすいホームページへの改修に努めました。

○ SNS・動画の活用

文化芸術に関心のある特に若い世代に即時性の高い情報を届けられるよう、SNSや動画の一層の活用に取り組みました。

③ 文化芸術関係資料のデータベース化

地域の文化芸術の発展に意欲あるアーティストを登録し、イベント等の主催者に紹介するとともに、文化財や文化施設、民間の文化芸術活動に関係する各種教室など、明石の文化芸術関係資料のデータベースの1つとして、本財団ホームページでの公開を行いました。

④ ウィズコロナ(文化芸術事業)の推進

ウィズコロナ時代に対応した文化芸術の振興を図るため、次の取り組みを行いました。

○ ウィズコロナモデル事業

明石アーティスト協会支援事業(再掲)において、製作した芸術作品の発表については会場における実演に替えて、映像のWEB配信を行いました。

○ コロナ対策事業

消毒液や検温器など感染対策物品を購入し、本財団のすべての事業で活用するとともに、支援事業も含めてイベント従事者に対し検温や消毒など感染対策手順の申し合わせや確認を行いました。

○ ウィズコロナ活動支援

コロナ下で控えていたライブイベントを支援するため、明石出身のプロ演奏家・宮地スグル氏(SAX)の演奏ライブ運営経費の一部を支援しました。

[開催日] 9月17日(土)

[開催場所] ライブ&レストランpochi

(3) 文化芸術活動に関する相談への助言、斡旋および助成を行う事業

① 文化芸術振興助成事業

明石市内において文化芸術活動を行う団体・グループ、アーティストに対して、文化芸術事業経費の一部を助成することにより、市民や子どもたちが文化芸術を身近に触れ親しむ機会の増加を図るとともに、明石市内を活動拠点とするアーティストの支援に努めました。

○ 文化芸術振興活動助成金

広く市民が文化芸術活動へ参加、鑑賞できる事業や市民に文化芸術を普及啓発する事業の経費の一部を助成しました。

[助成金額] 658,000円

[助成団体数] 19団体（うち中止1団体、交付取消1団体）

- ①レガロウインドオーケストラ、②AKP(明石ケーナプロジェクト)、③明石混声合唱団
- ④明石合唱連盟、⑤明石ペンクラブ、⑥明石西シンフォニックバンド、
- ⑦シンシアウインドオーケストラ、⑧竹中絵画教室(中止)、⑨明石美術協会、
- ⑩明石市民舞踊文化協会、⑪明石市吟詠連合会、⑫明石管弦楽団「詩五線」、
- ⑬アート企画d o s s o、⑭明石伝統芸能協会、⑮明石市吹奏楽連盟、
- ⑯嶋崎雄斗 with 明石コロボ演奏会実行委員会(交付取消)、⑰デッサン子午線、
- ⑱ニューイヤークンサート実行委員会、⑲musica iris

○ 子ども文化芸術活動助成金

18歳以下の子どもたちが文化芸術を体験、鑑賞できる事業やアーティスト志望の若者を育成する事業の経費の一部を助成しました。

[助成金額] 252,000円

[助成団体数] 4団体

- ①アンサンブル レ・リアン、②明石おさかな普及協議会、③明石いけばな協会、
- ④NPO法人明石おやこ劇場

○ アーティスト活動助成金

明石市内を活動拠点とするアーティストへの支援として、市内の文化芸術の振興とともに、文化芸術の新たな魅力の創出につながる活動への助成を実施しました。

[助成金額] 300,000円

[助成団体数] 1団体 明石弦楽オペラ会

② 相談への助言、斡旋等

文化芸術に関する相談に対しての助言やアーティスト等の紹介を行いました。

市民やアーティストが日頃感じている明石の文化芸術の課題やニーズの把握に努め、スクラップアンドビルドを行うなど、新たな事業展開につなげることができました。

[相談件数] 約50件

- [主な相談内容]
- ・アーティストの紹介や美術作品の展示場所など美術関係
 - ・ミュージシャンの紹介や演奏場所など音楽関係
 - ・イベントの実施方法に関する相談や助言
 - ・各種イベント等についての問い合わせ など

③ 後援名義の使用許可

後援名義の使用許可申請に対して審査許可を行い、各種イベントや活動を支援しました。

[後援名義使用許可件数] 49件

④ MERIDIAN芸術賞

明石市内において文化芸術活動を行い、顕著な活躍が認められる若手アーティストを顕彰するため、MERIDIAN芸術賞を贈呈し、あわせて公演や展覧会等の発表機会を提供することで、さらなる創作意欲の喚起につなげていくこととしていますが、令和4年度はコロナ禍の影響で実施を見送りました。

公2 国際交流推進事業

市民の国際交流や多文化共生を推進し、多様性を尊重した国際性豊かな市民文化の創生に寄与するため、明石市とも連携し、次の事業を推進しました。

1 国際理解に関する事業

国際交流に関する市民の関心を高め、世界各国の文化への理解を深める事業や、身近な地域で生活する外国人との交流や日本文化の体験事業を行いました。また、財団の活動等を紹介するため、市民や在住外国人に向けての広報活動の推進に取り組みました。

(1) 市民が国際理解を深めるための事業

① 国際理解セミナーの開催

異なる文化や生活習慣を持つ人々が、お互いを尊重し、ともに暮らすことができる地域社会の実現に向けて、外国人講師等から外国文化を学ぶセミナーを開催しました。

[開催日] ①6月4日(土) 『ネイティブ英語で学ぶ19世紀のユダヤ民話と人々のくらし』

②12月1日(木) 『ラトビアの文化紹介とオーナメント作り体験』

③1月28日(土) 『英語落語と講演会 笑いで世界をひとつに』

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 一般市民 284人

(2) 市民と外国人との日本文化体験・交流事業

① 日本文化鑑賞会・日本文化体験

市民と在住外国人と一緒に日本の伝統文化を体験し、鑑賞する機会を提供し、交流を推進しました。

○ 明石薪能鑑賞(伝統文化の鑑賞)

[開催日] 10月1日(土)

[開催場所] 明石公園西芝生広場 組立式能舞台

[参加者] 市内在住外国人等 約20人

○ 合同芸術祭参加(伝統文化の体験)

[開催日] 11月5日(土)～6日(日)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 市内在住外国人等 約10人

② 子ども異文化体験

子どもたちが異文化を身近に感じ、多文化共生社会への理解を深めることができるように、イベントを開催し外国の文化に楽しく触れる機会を提供しました。

[開催日] ①7月28日(木) 『リズムと動きで楽しく英語に触れる!ライモーター体験』

②8月24日(水) 『アフリカンアートティンガティンガを体験』

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 子どもと保護者 65人

(3) 広報活動の推進

① 広報活動の推進

財団の機関紙、ホームページ、メールマガジン、SNSの活用等を通じて、国際交流や多文化共生に関する事業をはじめ、国際交流活動をされている団体や個人に関する情報等を広く紹介し、多様な世代の市民の国際交流活動の推進を図りました。

② 財団チラシ(多言語版)の作成

財団の活動や事業内容について、在住外国人に広く周知を図るため、転入外国人向けの国際

交流事業を紹介するチラシやイベントのチラシを作成しました。

[作成チラシ] いろはクラブ運営事業（英語・ベトナム語併記）
明石薪能（英語版）

③ SNSの活用

財団の活動や事業について、在住外国人に広く周知を図るとともに、在住外国人とのネットワーク形成にも繋がるようフェイスブックにより情報を発信しました。

2 国際交流・協力に関する事業

在住外国人とのふれあい交流を深める事業の実施や国際交流・国際協力に取り組む地域の団体への事業支援を行いました。また、長く続いている姉妹・友好都市との交流や国際交流事業ボランティアの支援や養成に取り組みました。

(1) 国際交流事業ボランティア支援・養成事業

① ボランティア募集・登録・派遣事業

市民主体の国際交流活動や外国人住民との交流事業を展開していくため、広報紙などによりボランティアを広く募集し、登録を行い、派遣先からの要請に応じて対応できる体制を整えました。

[登録者数] 約280人

[募集方法] 広報紙、ホームページなど

[派遣先] 市内・近隣の学校、地域など

[主なボランティア活動の内容]

- ・ゲストティーチャー：学校での特別授業など
- ・ホームステイ（宿泊伴う）、ホームビジット（日帰り）：外国人を家庭に受け入れ
- ・翻訳・通訳：訪問外国人に対する通訳やパンフレットの翻訳など
- ・日本語学習支援：市内在住外国人を対象とした日本語の学習指導

② ボランティア養成講座

○ 国際交流ボランティア基礎講座

国際交流に関心や興味を持ち、ボランティアを目指す市民等を対象として、ボランティアの基礎知識を学ぶための養成講座を開催しました。

[開催日] 7月30日（土） 『見つけて、繋ぐ 外国人相談支援の現場から』

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 一般市民 16人

○ 日本語学習支援ボランティア養成講座・ブラッシュアップ講座

在住外国人を対象とした日本語学習支援講座の指導ボランティアを養成するための講座と指導力向上のためのブラッシュアップ講座を開催しました。

[開催期間] ① 8月～10月 6回開催 『日本語学習支援ボランティア養成講座』

② 5月21日（土） 日本語学習支援ボランティアブラッシュアップ講座①
『日本語学習支援ボランティア養成講座ダイジェスト』

③ 1月14日（土） 日本語学習支援ボランティアブラッシュアップ講座②
『対話ができる支援者になろう！対話活動で伸びる・伸ばすコミュニケーション力』

③ 3月11日（土） 日本語学習支援ボランティアブラッシュアップ講座③
『福井先生相談会』

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 日本語学習支援ボランティア等 64人

○ 英語翻訳・通訳ボランティアスキルアップ講座

地域で生活する外国人を支える語学ボランティアに対して、英語の翻訳や通訳のスキルアップを図るための講座を実施しました。

[開催期間] 6月～12月 20回開催

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 翻訳・通訳ボランティア等 36人

○ 多言語ボランティア基礎講座

市内では英語圏以外の外国人が増えており、英語以外の言語について、日常会話を中心とした基礎講座を実施しました。

[開催期間] ①2月～3月 6回開催 『入門ベトナム語と文化を学ぼう！』

②1月～3月 6回開催 『入門中国語と文化を学ぼう！』

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] ボランティアを志す一般市民 27人

(2) 国際交流活動の協力支援事業

① 国際交流活動助成事業

青少年の国際交流活動や在住外国人児童の居場所づくりなど、市内において国際交流や多文化共生に係る活動を行う団体を支援・促進するため、事業補助としての助成金を交付しました。

[助成団体] ①みんな de にほんご

②西明石日本語教室

③特定非営利活動法人多文化センターまんまるあかし

[助成金額] 180,000円

(3) 姉妹都市・友好都市交流事業

① 姉妹都市・友好都市交流事業

明石市の姉妹都市である米国バレーホ市や友好都市である中国無錫市との市民間における交流活動を支援するため、ホームステイ先の事前調整等の受入準備に取り組みました。

3 多文化共生に関する事業

外国人住民が地域で安心して暮らせる環境整備を図り、多文化共生の住みよい地域づくりへの推進事業を行いました。日本語（言葉の壁）や生活習慣の違いに戸惑う外国人住民が、日本への理解を深め、日本の生活習慣に慣れていくため、日本語支援や、地域生活で役立つ多言語による情報の提供、生活の中で直面する問題について相談対応などを行いました。

(1) 日本語学習支援事業

① 日本語学習「いろはクラブ」の運営

市内に在住する外国人が日常生活に必要な日本語を、登録された日本語学習支援ボランティアから、マンツーマンレッスンやクラスレッスンで学ぶことができる日本語学習講座「いろはクラブ」を運営しました。

[開催期間] 4月～3月

[開催回数] マンツーマンレッスン 延べ613回

オンラインレッスン 延べ117回

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[指導者] マンツーマンレッスン 64人

オンラインレッスン 8人

[学習者] マンツーマンレッスン 72人
オンラインレッスン 9人

② スピーチコンテストの開催

市内で日本語を学んでいる外国人を対象に、学習の成果を発表する機会として、日本語によるスピーチコンテストの開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(2) 多言語による情報・相談事業

① 生活情報等の翻訳

市内に在住する外国人への生活面のサポートとして、行政と登録された翻訳・通訳ボランティアを繋ぎ、防災や健康・福祉・保健など、行政からの生活情報等に関するパンフレットやガイドブックなどの外国語への翻訳を支援しました。

[翻訳資料] 明石市臨時特別給付金の案内文書の英訳

② 生活相談のサポート

市内に在住する外国人からの生活にかかる相談や問い合わせに対して、適切な窓口を紹介し、登録された翻訳・通訳ボランティアを派遣するなど、多言語による生活相談をサポートしました。

[相談事例]

- ・就労に関する相談
- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の付き添いなど

③ SNSによる生活情報提供

市内に在住する外国人への生活面のサポートとして、フェイスブックを活用してやさしい日本語や多言語による生活情報や行政からのお知らせ等を提供しました。

(3) 地域における国際交流事業

① 異文化交流広場

子育て世代や子どもたちなど、地域で生活する外国人と市民が気軽に交流し、相互理解を深める機会を提供しました。

[開催日] ①11月26日(土) 『やさしい日本語で話す交流会①』

②2月18日(土) 『やさしい日本語で話す交流会②』

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 在住外国人、一般市民等 39人

② やさしい日本語講座

在住外国人と市民との交流を促進するため、地域の人々を対象に、外国人が聞き取りやすい「やさしい日本語講座」を明石市と連携し、開催しました。

[開催日] ①10月22日(土) 『やさしい日本語講座①』

②12月3日(土) 『やさしい日本語講座②』

③12月10日(土) 『やさしい日本語講座③』

[開催場所] 高丘コミセン、衣川コミセン、魚住コミセン

[参加者] 一般市民 47人

③ ウィズコロナ(国際交流事業)の推進

ウィズコロナ時代に対応した多文化共生や国際交流の推進を図るため、いろはクラブのオンラインレッスンを拡充するなどコロナ対策事業を実施しました。

II その他事業

他1 明石フィルハーモニー支援事業

明石フィルハーモニー管弦楽団及び明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラが演奏活動やアウトリーチ活動を計画的・効果的に行い、明石フィルハーモニー協会がオーケストラを自主的に運営していけるよう助言するとともに、演奏会場や練習会場、楽器倉庫の確保及び後援会組織「たこフィル倶楽部」運営などのサポートを進めました。

III 財団の管理運営に関する事項

1 理事会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和4年5月19日 (第40回)	議案第104号	令和3年度 事業報告について	可決
	議案第105号	令和3年度 決算報告について	可決
	議案第106号	理事、監事候補者の推薦について	可決
	議案第107号	第22回評議員会の開催について	可決
令和5年3月30日 (第41回)	議案第108号	令和5年度 事業計画について	可決
	議案第109号	令和5年度 収支予算について	可決
	議案第110号	理事の推薦について	可決
	議案第111号	書面による評議員会の開催について	可決
	議案第112号	財団人事（事務局長）について	可決

2 評議員会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和4年5月26日 (第22回)	議案第40号	令和3年度 決算について	可決
	議案第41号	理事の選任について	可決
	議案第42号	監事の選任について	可決
	報告第12号	令和3年度 事業報告について	了承

3 役員の状況（令和5年3月31日現在）

○理 事

- ・理事 長 崎野 圭子
- ・副理事長 岩崎 充臣
- ・常務理事 寺田 敏和
- ・理 事 西尾 弘子 竹内 利江

○監 事 山本 直樹 岸本 智洋

4 評議員の状況（令和5年3月31日現在）

○評 議 員 分玉みどり 竹中 信清 藤野 一夫 望月 康恵

5 評議員選定委員会の状況（令和5年3月31日現在）

○委 員 林 祝雄 永田 晋也 柘本 佳子 山本 直樹 黒谷 友紀

6 職員数（令和5年3月31日現在）

○事務局長 1人

○事務局員 13人

7 行政官庁許可事項（届出事項・登記など）

異動年月日	申請・提出先	内 容
令和4年4月28日	兵庫県知事	変更の届出
令和4年5月27日	神戸地方法務局	公益財団法人変更登記申請
令和4年6月8日	兵庫県知事	変更の届出
令和4年6月17日	兵庫県知事	事業報告等の提出
令和5年3月30日	兵庫県知事	事業計画書等の提出